

就学前子どもの育ちの方向性

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 …… 「10の姿」「3つの視点・5つの領域」「3つの資質・能力」

☆「あそび」を基本とした様々な活動を通して育む☆

10の姿

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の
芽生え

社会生活との
関わり

思考力の
芽生え

自然との関わり・
生命尊重

数量や図形、
標識や文字など
への関心・感覚

言葉による
伝え合い

豊かな感性と表現

3つの視点・5つの領域

健康

人間
関係

環境

言葉

表現

健やかに伸び伸びと育つ
（身体的発達の視点）

身近な人と気持ちを通じ合う
（社会的発達の視点）

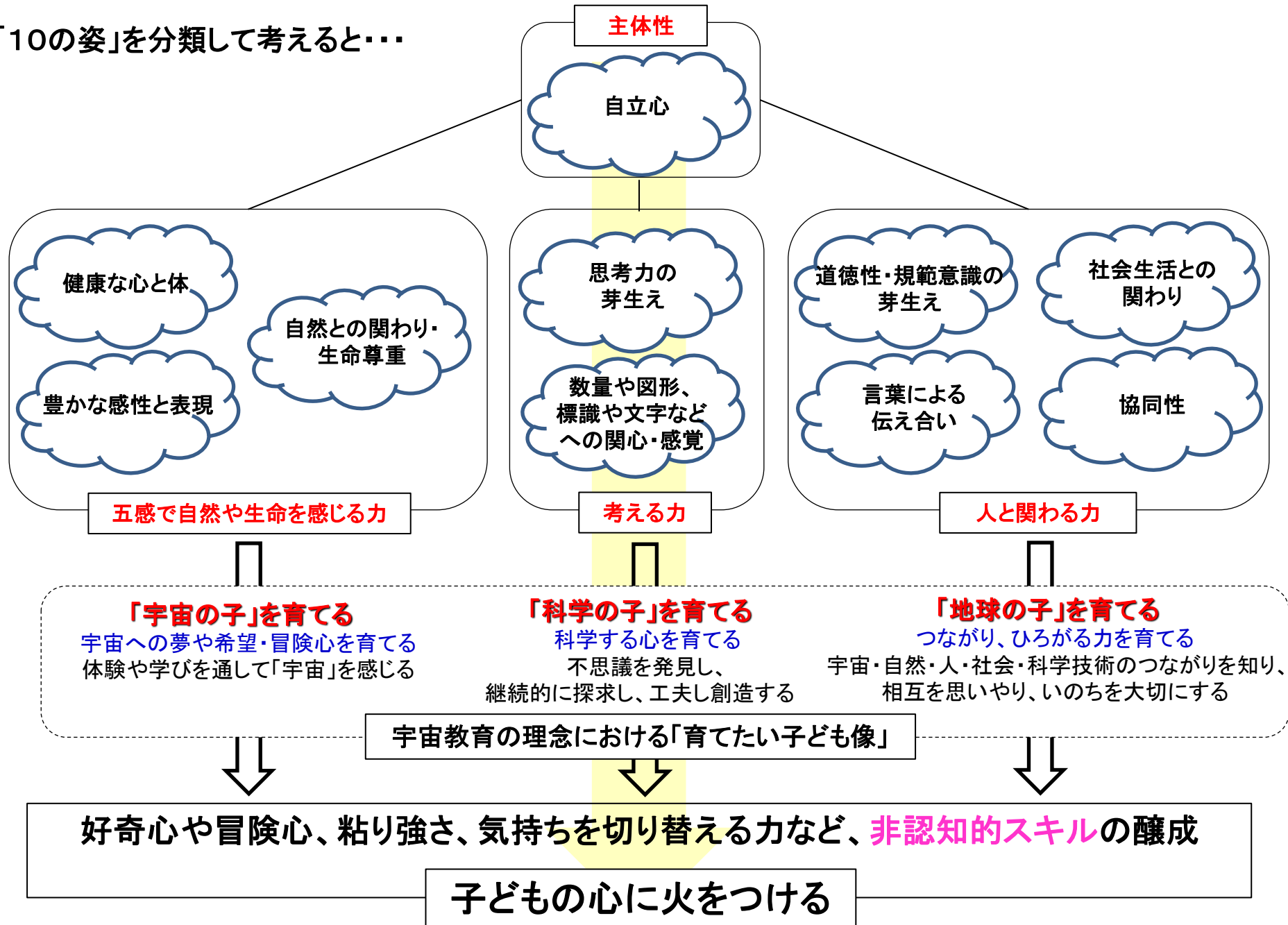
身近なものと関わり感性が育つ
（精神的発達の視点）

3つの資質・能力

- 豊かな体験を通して、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする ……「知識及び技能の基礎」
- 気付いたことや、できるようになったことを使い、……「思考力、判断力、表現力等の基礎」
考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする
- 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする ……「学びに向かう力、人間性等」

就学前子どもの育ちの方向性

「10の姿」を分類して考えると・・・



「環境を通して行う教育保育」を基本とする

(※幼保連携型認定こども園 教育保育要領解説より引用まとめ)

- 安心感と信頼感をもって活動に取り組むこと
- 園児の主体的な活動を促し、乳幼児期にふさわしい生活を展開すること
- 遊びを通しての指導を中心として教育保育要領に示すねらいが総合的に達成されるようにすること
- 園児一人一人の発達の特性に応じること

※環境とは物的な環境だけでなく、他の園児や関わる大人(先生)という人的なものも含めた全て

・ハード面 ⇒ 空間的な物的環境

・ソフト面 ⇒ 関わる大人(先生)の質などの人的環境

} 共に重要



こどもの「生きる力」を育てる